

○肥料・飼料等（第41回）／微生物・ウイルス（第15回）合同専門調査会（薬剤耐性菌に関するワーキンググループ）

日時：平成22年9月29日（水）15：30～17：40

議事概要：

- （1）専門委員紹介
- （2）合同専門調査会（薬剤耐性菌に関するワーキンググループ）の運営等について
  - ・事務局より説明。
- （3）座長の選出
  - ・肥料・飼料等専門調査会の唐木専門委員が座長に選出された。
- （4）ツラスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤（ドラクシン）の承認に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について
  - ・審議の結果、食品健康影響評価については、
    - 1）評価対象動物用医薬品が豚に使用された結果としてハザードが選択され、豚由来食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中等度であると考えられた。
    - 2）なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。とすることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。  
\* 抗菌剤で、豚の細菌性肺炎の治療を目的として用いられます。